

国語科 2年

登場人物の心情や考え方をとらえよう！（「アイスプラネット」 椎名誠）

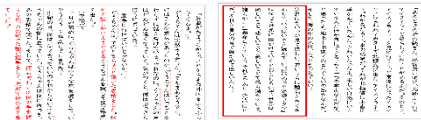
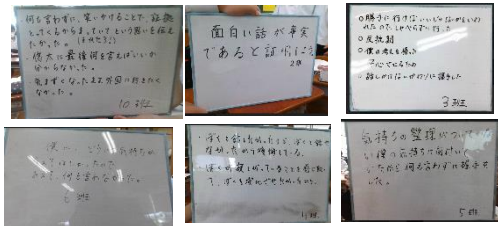
担当 高橋 舞

【活動の目標】

最後の場面で「ぐうちゃん」の「僕」への態度やその後届いた手紙の内容を通して、「ぐうちゃん」の「僕」に対する思いや「ぐうちゃん」の生き方を考えることができる。

【 問 い 】

- ・なぜ、「ぐうちゃん」は「僕」に何も伝えず、しかし笑顔で力強い握手をして去っていったのだろうか。（問いの工夫Ⅰ）
- ・その後届いた「ぐうちゃん」の手紙から「僕」に対するどのような思いが伝わり、「ぐうちゃん」の生き方を感じ取ることができるか。（問いの工夫Ⅱ）

今回 ICT を活用した場面	ICT 活用の良さ・改善点など	従来の活動
<p>A1 教員による教材の提示</p> <p>【資料】</p>  <p>その日の授業で注目してほしい本文や語句に全員が共通理解できるようにスクリーンへ映す。</p>	<p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の内容を考える上で、特に注目してほしい本文の内容や語句をカラーで表示できることにより、全員に確実に共通理解させることができる。そうすることで、【問い】に意欲的に向かうことができる。 <p>【改善すべき点と原因および改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を開くことへの意識を高める。 ・スクリーンへ提示した箇所以外の部分にも目を向けさせることへの意識。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当部分をプリントにして印刷する。 ・教科書を指し示す。
<p>C1 発表・話し合い</p> <p>【資料】</p>  <p>班で話し合った結果をホワイトボードにまとめさせ、それをクロムブックにあげさせる。全体交流の時に、スクリーンに映し出す。</p>	<p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに映し出すことにより、班で話し合った内容が全体交流の時に伝わりやすくなる。 ・クラウドにあげさせることで、「振り返り」を書くときなどにもう一度多くの考えを自分で確認することができるため、C層の生徒でも自分の考えを書くことができる。 <p>【改善すべき点と原因および改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートと併用させることに意識を向けさせる。 	<p>ホワイトボードを黒板にはる。</p>

